

現職者共通研修 事例検討参加者募集

日本作業療法士協会の生涯教育制度基礎コース必須研修の一環である事例検討会を大阪府作業療法士会では各ブロック単位で開催しています。他施設での取り組みや作業療法介入を知ることができる大変貴重な機会です。4月からの新入職員さんの参加も含めて、是非多くの皆様のご参加をお待ちしております。

今年度もオンライン(ZOOM)での開催となります。ご参加のほど宜しくお願い致します。今回の募集は「参加」「検討」となります。



2026年4月10日(金)

19時30分～21時30分

オンライン(ZOOM)開催

【募集要項】

基礎「検討」申請:500円(質疑必須)

2ポイント申請:500円

参加のみ:無料(学生参加可能)

応募方法:QRコードより申し込みください

応募締切 2026年4月7日(水)



<https://x.gd/z7GCn>

北河内ブロック代表 中川英俊(メディケアリハビリ訪問看護ステーション大東)

プログラム	セッションA 座長:名倉 和幸 OT 介護老人保健施設ハーモニイ	セッションB 座長:村橋 大輔 OT 慶生会訪問看護ステーション 四 條畷出張所	セッションC 座長:田丸 佳希 OT 京都橘大学	セッションD 座長:大野 カト 大阪医療福祉専門学校
19:30	事例① 大林怜矢 医誠会国際総合病院 「重度弛緩性麻痺の患者に対して体性感覚・内的注意にアプローチし、ブツシャーの改善に伴いトイレ誘導が可能となった一症例」	事例② 市川泰治 新大阪病院 「人間作業モデルを活用し考察した一症例 間質性肺炎急性増悪による入院ケース」	事例③ 綿貫翔太 山弘会上山病院 「視床外側の出血により失調症状を呈した対象者の箸操作・書字動作の改善を図った事例」	
19:55		事例④ 角慧耶 関西医科大学くずは病院 「性格特性を考慮した行動変容アプローチにより食事動作における麻痺手参加が向上した一例」	事例⑤ 田中遼介 医誠会国際総合病院 「中心性脊髄損傷を呈した患者の肩甲帯に着目することで箸操作獲得に至った症例」	事例⑥ 北川 果鈴 わかさ竜間リハビリテーション病院 「老人性うつにより負の学習を呈した脳血管患者に対し、関心のある生活行為を通して正の学習形成へと変化を認めた作業療法介入の一症例」
20:15	事例⑦ 姫田佳奈 医誠会国際総合病院 「急性期治療よりMTDLPを用いて目標を共有し、回復期病院へ繋いだ一症例」		事例⑧ 中島希 関西医科大学附属病院 「空間認知障害・身体失認により食事動作が困難だった一例」	事例⑨ 福元有希 西浦会京阪病院 「創作グループ活動の参加により活動性が向上した事例について」
20:40	事例⑩ 田畑莉菜 わかさ竜間リハビリテーション病院 「重度記憶障害を呈した事例に対する代償手段と実動作を活用した介入報告」	事例⑪ 脇坂晶帆 摂南総合病院 「被殻出血により地誌的見当識障害を認めた症例に対しての介入」	事例⑫ 梅野有沙 関西医科大学附属病院 「左上下肢の運動麻痺・左半側空間無視を認めた脳梗塞患者のアウェアネス獲得が困難であった介入経験」	事例⑬ 古澤果歩 松下記念病院 「パーキンソン病患者における自己管理指導による抑うつ改善の一事例」
21:00	事例⑭ 小田彩也音 わかさ竜間リハビリテーション病院 「重度の上肢手指麻痺を呈した脳卒中患者への介入経験～訓練内容の段階づけに着目して～」	事例⑮ 杵村優希 関西医科大学附属病院 「右頭頂後頭葉の膠芽腫による左半側空間無視に対して、気づきの促進・段階付けによりADLの改善に至った事例」		事例⑯ 善家郁子 箕面神経サナトリウム 「知的障害のある統合失調症患者の自傷行為に対するアプローチ」